

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [地域福祉権利擁護事業費補助金交付事務]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	15	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	福祉推進			課			庶務			係	課長名	山田 茂人
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2		2	
【施策名】 高齢者保健福祉の推進 障害者福祉の推進								総合計画書(ページ)	51、55		3	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 成年後見制度の利用には至らないが、認知症等により判断能力が低下し、財産管理や日常性格を営むことが困難になった高齢者、知的障害者及び精神障害者とその家族				→				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 相談件数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 判断能力が不十分な方の日常的な金銭管理や重要書類の預かりなどのサービスを実施することにより、地域において自立した生活が送れるようにする。				→				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 新規契約件数			
	③ そのために何をしましたか。 東大和市社会福祉協議会が実施している地域福祉権利擁護事業に係る費用の一部を補助する。				→				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 補助金額			
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数值	件	3,893	5,055	5,950						
	成果指標	②の数值	件	9	13	13						
	目 標	②の目標値	%	0	0	0						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 相談から成年後見につながった件数の割合												
3 経費	事業費(実績)		円	4,734,792	2,583,400	2,551,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,734,792	2,583,400	2,551,000						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	5,565,792	3,421,400	3,376,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度	12 年度										
	(2) 環境の変化	高齢化とともに相談件数は増加している。										

事業名称	東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [地域福祉権利擁護事業費補助金交付事務]				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 山田 茂人

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	サービス利用希望者については、社会福祉協議会と契約をしてサービスの提供を受けることとなる。また、認知症が進行した場合等には、成年後見制度に移行することがある。				
6 市民 協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし					
7 課 題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 特になし				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 特になし				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 事業の周知・PRが浸透してきたことにより、新規契約数が増加している。専門職員の体制整備が求められている。				
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)					
施策名： 高齢者保健福祉の推進 障害者福祉の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()					
9 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】 権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
①制度の広報 ②制度利用者の相談 ③制度利用促進(マッチング) ④後見人支援等の機能を整備 本人を見守る「チーム」、地域の専門職団体の協力体制(「協議会」)、コーディネートを行う「中核機関(センター)」の整備。					